

「韓国併合」100年 日本と朝鮮半島の今を問い合わせ 日朝国交正常化の実現を！女性集会

DVD上映

「独立宣言」—1919年2月8日朝鮮留学生たちが民族独立宣言文を「学友総会」で採択。それは『3.1独立運動』に影響を与えることとなった。そのときの状況を映像化したもの。

基調講演

「韓国併合100年を迎える日本人と朝鮮人の課題」

和田春樹さん（東京大学名誉教授）

私たちの主張

～新たな日朝関係をどう築いていくのか～

★「日本の地に生きて」

安正恵さん（在日朝鮮人女性）

★「強制動員、軍『慰安婦』、遺骨など戦後補償問題を解決するため」

内海愛子さん（早稲田大学客員教授）

★「植民地責任・戦後の課題」—日本人の反省を込めて

清水澄子さん（女性会議常任顧問・朝鮮女性と連帯する日本婦人連絡会代表）

意見交流 地域からの発言など アピール・決議

日 時 4月25日（日）10：00～16：00 （開場9：30）

会 場 在日本韓国YMCA Yスペース（地下）

参 加 費 1,000円

主 催／「日本と朝鮮半島の今を問い合わせ、日朝国交正常化の実現を！女性集会」実行委員会
連絡先／TEL：03-3816-1862

100年前の1910年、日本は朝鮮を「併合」しました。植民地支配40年、「創氏改名」で名前を奪い、朝鮮語を禁止。故郷の土地を奪われた人々を中国に日本に追い、さらに日本の侵略戦争に強制連行、強制労働、「日本軍慰安婦」として動員し悲惨な結果を生みました。これらの被害者に対する償いは終わっていません。

とくに、戦後65年、植民地支配の歴史を解決するには朝鮮民主主義人民共和国と真剣に話し合い、国交を開かねばなりません。歴史に向き合い、考え合いましょう。どうぞご参加ください。

